

<5>

「頭の中にたくさん『？』を抱えてそれを解決し、一人でも多くの人を幸せにするのが研究者です」。20日、屋代高校多目的室で行われた付属中学校向けの特別講義。NTT物性科学基礎研究所主任研究員で量子力学が専門の向井哲哉さん(47)は、1年生80人を前に、科学を学ぶ際の心構えを伝えた。

特別講義は、理科や数学、科学技術教育を「粒」と「波」の二つ重点に置く「SSH」の性質を併せ持つ「量(スーパーサイエンス)子」であることを複数ハイスクール)の指定の実験結果を基に説を受ける屋代高校との連携により、付属中単独で初めて実現した。科学の最先端の話題に触れることで生徒たちに刺激を与え、勉強へのモチベーションを高め、端物理学を語る向井さんの姿にいつしかくき

付けになっていた。理科の実験が好きで付属中に入学したという1年A組の浜田悠貴

SSHと連携で特別講義

「量子」に興味尽きず

君は「光は波だと思っていたら粒でもあった。どうしてだろう。不思議だけど面白かった」と、頭の中にさら

なる疑問を詰め込んだは、理数教育に力を入れた教育課程を組んだ山千智さんは「複数の見方がないと事実は分からない。すごい勉強知識を活用できる生徒の育成を目指している。付属中の児玉隆副校



特別講義後に講師の向井さん(右から2人目)に質問する付属中の生徒たち

ていた。

ただ、SSHとして長は「SSHとの連携

SSHは文部科学省の事業で、これまでに全国178の高校が指定を受けている。2003(平成15)年に指定を受けた屋代高校で約10年の歴史がある屋代高校とは異なり、開校したばかりの付属中が今後どのようにSSHを活用した教育に取組んでいくか明確にしている。